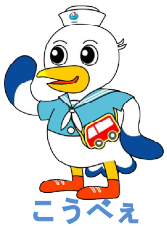
NEWS RELEASE

平成２８年8月１８日１４時　資料配付

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
神戸運輸監理部



配布先
神戸海運記者クラブ

この件に関するお問い合わせ先
神戸運輸監理部　海事振興部　旅客課 担当：岡本、松村 （電話）０７８－３２１－３１４６（直通）

子どもたちのハートをGET！

マイナス 25℃の冷蔵倉庫、水先シミュレータ体験など
「海事施設見学会」を実施しました

８月１日（月）、神戸運輸監理部も参画する神戸海事地域人材確保連携協議会では、兵庫県内の小学４～６年生・中学生を対象とした「海事施設見学会」を実施しました。

今年は、（株）上組（Ｋ－ＤＩＣ）（以下「上組」）及び神戸大学大学院海事科学研究科（以下「神戸大学」）のご協力を得て、冷蔵倉庫や実習船「深江丸」、海事科学博物館の見学及び水先シミュレータの操作を体験しました。

○　「船に関する話」を聞いた後、上組のマイナス２５℃の冷蔵倉庫を体験しました。想像以上の寒さで直ぐに退室となりましたが、このような冷蔵倉庫で商品が保管されて、スーパーやコンビニに出荷されるという流通の仕組みが理解できたようです。

○　神戸大学では、学生の案内により実習船「深江丸」を見学しました。
船内ではブリッジだけでなく機関室も見学し、エンジンを動かすために必要なたくさんの配管について説明を受けました。

続いて、水先シミュレータの操船体験を行いました。シミュレータといいながら、見える景色は降雨や夜間など、現実に乗船しているような錯覚を持たせるほどリアルで、子どもたちは夢中になって舵を握っていました。

最後に海事科学博物館では、川崎造船所の創始者により設立された川崎商船学校から現在の神戸大学海事科学部に至るまでの歴史の説明を受けました。博物館内には古い時代の船の模型や地図等が多数展示されており、子どもたちも興味深そうに展示物を眺めていました。

○　子どもたちのアンケート結果からは、各施設の見学を通じて船や海、港への関心を強く持った様子が伺え、「マイナス２５度はとてもさむかった。」「シミュレータは船のうごきが速くてスリルがあった」「船の中に機械がいっぱいあっておどろいた」「自由研究は船をテーマにするのでとても役に立ちそうです」等の感想がありました。

神戸運輸監理部旅客課では、これからも海事施設見学会等を通じ、小中学生の海や港への理解・関心を深める取り組みをすすめていきます。

【実施日】　平成２８年８月１日（月）１０時～１６時
【実施場所】　・（株）上組（Ｋ－ＤＩＣ）冷蔵倉庫
　　・神戸大学大学院海事科学研究科
　　実習船「深江丸」、水先シミュレータ、海事科学博物館
【参加人数】　兵庫県内の小学４～６年生・中学生　　９名

見学中の子どもたちの様子を一部お届けします。

ヘルメットを着用して いざ、
マイナス２５℃の世界へ！

船長による船のお話

未来の船長?!から機器の説明

大雨の当直体験？

北前船って
ここを通ってたんだ‥